

実践キャリア・アップ戦略  
カーボンマネジャーキャリア段位制度  
第15回ワーキング・グループ

---

平成27年3月24日

# 議事次第

---

- I. 前回WG以降の取組状況（報告事項）
- II. これまでの事業成果（報告事項）
- III. 来年度以降に向けて（審議事項）

## 関係団体との連携

環境・エネルギー分野の資格等を運営する各種関係団体との、広報・普及面での連携・協力を図っている。

- (一財) 環境事業協会  
3R・低炭素社会検定を主催。2009年から実施されており、検定合格者は累計で、3R部門で約3,000人、低炭素社会部門で約1,000人。
- (一社) カーボンマネジメントアカデミー  
「地域カーボンカウンセラー養成事業」の実施主体。所定の講座を修了者は約1,500人。
- (一社) 日本有機資源協会  
「食品産業の地球温暖化・省エネルギー対策促進事業」(農水省事業)における研修会実施団体。
- エコ・リーグ  
環境問題に関心のある若者の交流イベントなどを実施しているNPO団体
- em factory  
全国学生環境ビジネスコンテストなどを実施・運営している団体



これらの団体には、それぞれ発行するメールマガジン、ダイレクトメールやtwitter, facebook等のメディアにおいて、トライアル試験実施の情報などを盛り込んでいただくなどの協力をいただいた。

## eco検定（東京商工会議所）との連携

---

前回WG（7月7日）において、できるだけ既存の資格との関係付けを図っていく観点から、eco検定合格者を、本人からの申請に基づき、カーボンマネジャーレベル1に認定する方向で、東京商工会議所と調整を進めていくことを確認。



- eco検定合格者をカーボンマネジャーレベル1に認定することは可となっている。
- 平成26年11月27日付で、（一社）産業環境管理協会から「『エコ検定合格者を対象とするレベル1試験免除措置』実施のお知らせ」を発出。
  - 平成27年2月2日から申請を受け付け（認定は3月から開始）
  - 平成26年度受付分までは、認定料無料
  - 認定対象者は、平成26年夏の試験以降の合格者
- （一社）産業環境管理協会・内閣府のHPで周知するとともに、エコプロダクツ2014（12月11日～13日）でもPRを実施。
- レベル2トライアル試験（後述）の実施について、エコピープル支援協議会のHPやエコピープルへのメールマガジンで広報していただくなどの協力を得ることができた。

## レベル2 トライアル試験の実施

カーボンマネジャーの対象分野として、エネルギー・環境分野全般を広く網羅していくことを、前回・前々回のWGで確認。

来年度から対象範囲を拡大して運用していくことに先立ち、より受験者のニーズ等を反映した試験とするため、レベル2について、トライアル試験を実施。

### 結果概要

実施日	平成26年12月21日（日）及び平成27年1月18日（日）
試験会場	エッサム神田ホール（東京都千代田区神田）
申込者数	91名
受験者数	71名（うち3名は、12月と1月、両方の日時で受験）
合格者	13名（正答率70%以上だった受験者の人数）

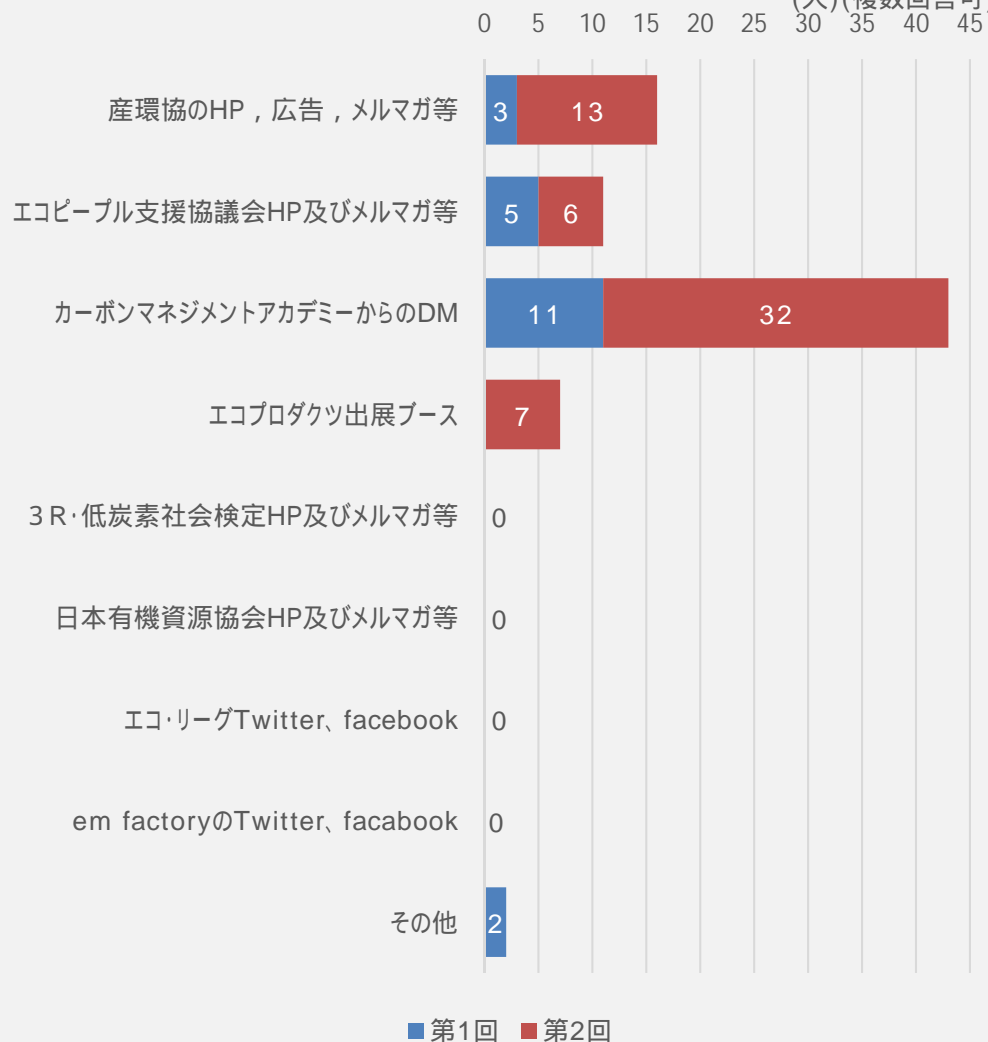


# レベル2 トライアル試験の実施

## 受験者の属性等

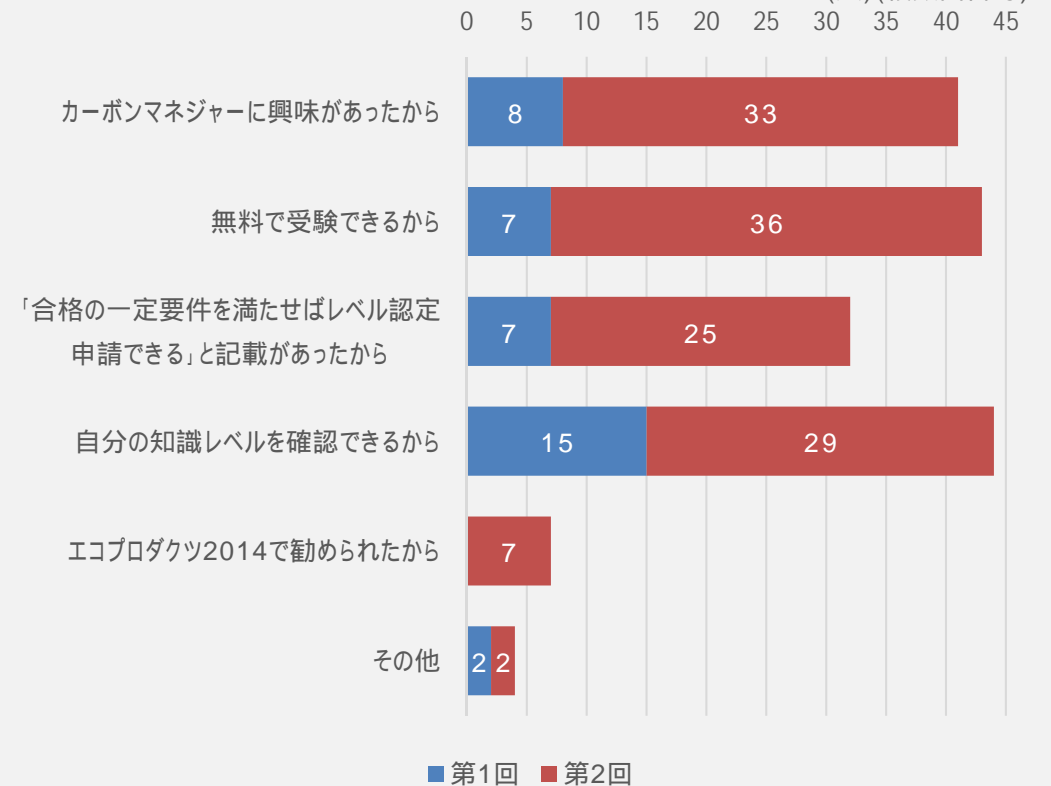
トライアル試験の実施を知ったきっかけ

(人)(複数回答可)



受験を申し込んだ理由

(人)(複数回答可)



## レベル2 トライアル試験の実施

### 受験者から寄せられた主な意見等

#### <認知度の向上を求めのご意見>

- 制度に関する情報がわかりづらく、制度が現時点でどうなっているのかがよくわからない。
- 良いと思うが、普及・認知がまだまだで、本分野でかなりの経験を積んだプロの方が、意外に受験しないままになっていると思う。
- レベルごとに学習しておくべき項目・要求される能力等を、専門家からやや逸れた分野の人にもわかるよう、より詳細に設定していただけるとありがたい。
- 今後もこのような企画を行ってほしい。

#### <資格の活用に関するご意見>

- 具体的に段位を持つことで何かプライオリティがあれば良い。
- 段位を取得したら、それを活用できる場があってほしい。
- 資格によって責任ある仕事ができること、機会を作ってほしい。

#### <教育・学習に関するご意見>

- 弱点診断と言うか、回答したうち、正解率の低い分野について指摘とアドバイスを実施してもらえるとありがたい。
- 試験内容等の問題集が欲しい。
- 過去問を公開してほしい。

## レベル2 トライアル試験の実施

### 受験者へのフォロー

- 合格水準（70%）に達した方には、レベル2の認定可能である旨を来月以降通知し、申請に応じて、レベル認定を行っていく。（「受験の手引き」に掲載している手続き）
- 今回、合格水準に達しなかった受験者に対しても、eメール・ダイレクトメールなどで、再受験や、レベル1の受験などを呼びかけていく。

### 受験者属性・受験者の声を踏まえた対応

- 制度そのものへの否定的な意見は少ないが、やはり、認知度やレベル認定を受けることの実際的なメリットに疑問を投げかける声が多く、今後の普及・広報が重要。
- 受験者が保有している資格等を見ると、eco検定保有者やカーボンマネジメントアカデミーの講座修了者へのリーチは有効性が高いと思われ、こうした方々へのリーチを重点的に行っていくべき。
- 合格率自体が低く、関連資格保有者の合格率も必ずしも芳しいものではなかったことを受け、試験の難易度や求める知識の内容は、精査する必要がある。



## 制度名称の変更

「カーボンマネジャー」という名称については、イメージ喚起力不足や中身と名称の齟齬などの課題があることを踏まえ、前回WGにおいて、普及啓発アドバイザーリーボードでの議論を参考に、改めてWGで審議・承認することとした。普及啓発アドバイザーリーボード（8月4日）では、委員から主に以下の意見が出された。

- 「環境」というワードだと生物多様性なども含んでしまうので抵抗もあるが、普及啓発の観点では、入っている方が望ましい。
- プロモートの取掛かりとしては単に「エネルギー」とするより「環境」とある方が身近に感じる。
- レベルに応じて、呼称を少し変えるのはどうか。

以上を踏まえ、WG委員各位への持ち回り協議を経て、平成27年度から以下の新名称で運用することとしている。



### 【制度名称】 エネルギー・環境マネジャーキャリア段位制度

レベル1	エネルギー・環境	アシスタント・マネジャー
レベル2	〃	マネジャー
レベル3	〃	シニアマネジャー
レベル4	〃	エキスパート

既に3月初旬から、（一社）産業環境管理協会及び内閣府のHPにて、名称の変更を告知済み。

また、産業環境管理協会からは、パンフレットの配布も行う。

## 補助金交付期間（平成24～26年度）における事業実績

- レベル認定者数
 

レベル1 : 14人	}	計19名	先般実施したレベル2トライアル試験で合格水準に達した方（13名）については、来年度当初から、申請に基づき、レベル2に認定予定。
レベル2 : 1人			
レベル3 : 3人			
レベル4 : 1人			
- 認証を受けた育成プログラム機関：2機関（テクノファ、カーボンマネジメントアカデミー）
- 上記育成プログラム機関での受講者数：82名
- 「わかる」の評価を受けた者：41名
- 「できる」の評価を受けた者：4名

平成24年8月17日の第11回WGで掲げた、レベル認定者数目標には及ばない結果となり、今後、関連資格との連携、広報の充実、ニーズに合った試験改善等の取組により、さらなるレベル認定者数の増加、制度の普及を図っていく必要がある。

## 事業実施に係る体制・権限

第12回WG（平成24年12月19日）で確認された各会議体の役割分担は以下のとおり。

会議体	WG	運営委員会	レベル認定委員会 (試験委員会・評価委員会の役割を含む)
事務局	内閣府	(一社)産業環境管理協会	(一社)産業環境管理協会
所掌事務	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ カーボンマネジャーキャリア段位制度の設計及び更新（骨格となる制度設計・更新） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「わかる」の教育カリキュラム（標準育成プログラム）</li> <li>・ 「できる」の評価基準（実務経験に係る評価基準等）</li> </ul> </li> <li>○ レベル認定者数の目標設定・定期的なフォローアップ</li> <li>○ 他省庁の施策との調整・連携（資格制度、教育制度等）</li> <li>○ 実施機関からの報告を踏まえ、（必要に応じて）運営委員会・レベル認定委員会への助言・指摘（実施期間事務局への指摘は、WG事務局（内閣府）より適宜実施）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目標達成に向けた事業実施・スケジュールの管理</li> <li>○ 事業内容の検討・検証 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 試験の実施</li> <li>・ アセッサーによる内部評価</li> <li>・ 認定審査員による外部評価</li> </ul> </li> <li>○ 普及啓発策・広報の検討、検証</li> <li>○ 収支状況の検証</li> <li>○ （必要に応じて）カーボンWGへの状況説明・制度改善提案</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 研修機関・育成プログラムの認証基準の決定及び認証</li> <li>○ 試験問題・手順の決定、合格基準の決定、「わかる」（試験結果の評価）</li> </ul>
開催頻度	随時	四半期に1回	1か月に1回

## 事業実施に係る体制・権限

平成26年度を以って内閣府の補助事業が終了することに伴い、現在、WGに置かれている権限は、原則として運営委員会に移し、（一社）産業環境管理協会にて、自主的・弾力的な制度運営を行える体制を整える。

### 平成27年度以降の役割分担（案）

会議体	運営委員会	試験委員会 レベル認定委員会
所掌事務	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ エネルギー・環境マネジャーキャリア段位制の設計及び更新（各レベルにおいて求める「わかる」及び「できる」の水準の設定を含む）</li> <li>○ 事業内容の検討・検証</li> <li>○ 普及啓発策・広報の検討・検証</li> <li>○ 目標の設定及び目標達成に向けた事業実施スケジュールの管理</li> <li>○ 関連資格との連携に係る検討・検証</li> <li>○ 収支状況の検証</li> <li>○ その他制度の運営に関わることで、運営委員会が別途定めること</li> </ul>	<p>既存の「試験委員会規程」及び「レベル認定委員会設置要綱」に定めるとおり。以下例示。</p> <p>&lt; 試験委員会 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 試験問題の作成</li> <li>○ 合格基準の決定、合否の判定</li> </ul> <p>&lt; レベル認定委員会 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 研修機関及び育成プログラムの認証</li> <li>○ 試験の運用</li> <li>○ 最終的なレベル認定</li> </ul>
開催頻度	随時	随時
事務局	（一社）産業環境管理協会	

## 事業実施の方針

(一社)産業環境管理協会は、以下の基本的な方針に則り、カーボンマネジャーキャリア段位制度(平成27年度以降は「エネルギー・環境マネジャーキャリア段位制度」)を自主的に運営し、その普及・拡大に努めるものとする。

- 「実践キャリア・アップ戦略基本方針」(平成23年5月18日)に掲げる制度の狙い・方向性は、これを引き継ぐ。
- エネルギー・環境分野の関連資格を保有する者のレベル認定(または、関連資格における、レベル認定者への資格付与)や、関連資格を運営する団体による広報協力など、関連資格との連携・協力を積極的に図る。
- 特にレベル1ないしレベル2の職業準備段階においては、大学、高等専門学校等での教育課程との連携を進め、制度の裾野拡大を図る。
- 職業教育の一環としてより活用されるよう、キャリアアップ助成金・キャリア形成助成金の活用等による利用促進を図る。
- 制度としての継続性に配慮しつつも、ビジネスの現場において求められるニーズを踏まえ、適切に制度設計の改善を行っていく。
- 運営委員会において設定する定量的な目標に基づき、事業の進捗管理を行う。